



そ 殺鼠剤生産盛況

防水型殺鼠剤の生産は熱気がたいへんです。



タニサケでは「ゴキブリキャップ」の生産を七月末で一旦終了させ、その後、生産の主力は殺鼠剤へと移りました。昨年より、殺鼠剤の生産が増加し、業務用防水型殺鼠剤や、一般販売用の防水型殺鼠剤「コロソブロック」と、農薬「コロソ粒剤」のフル生産が行われています。また本年より受託生産を行なっている殺鼠剤が、当初の予測を超える大量の受注があり、製造部では、昼休みや休憩時間にも機械を稼働させています。

三十年以上前の古い機械もフル稼働しています。



受託生産の粉末タイプの殺鼠剤の包装を行なう皆さん



ネズミ退治には
コロソブロック

鍵山秀三郎さんに学ぶ

謙虚

人間としての第一条件は、まず謙虚であること。
トイレ掃除をしていると謙虚な気持ちになります。

『一日一話』鍵山秀三郎著より



ゴキブリ追放宣言

ネズミ駆除の準備

殺鼠剤でねずみ駆除する前には、餌となる食品類を片付けましょう。他に餌があれば当然、駆除剤の喰いつきは悪くなります。

食器棚やパントリー、キッチンシンク下など今まで通りの場所への収納では不十分です。冷蔵庫や蓋つき樹脂製コンテナなどねずみが絶対に辿り着けない場所に収納しましょう。
食品類は冷蔵庫または樹脂製コンテナへ

・仏壇や神棚のお供え物、そのままになっていませんか？

・押入れや棚にお中元やお歳暮の乾物類などありませんか？

ねずみは飢餓状態に弱く、常に餌を求めて歩き回っています。餌になるものがあればそこに居座り、棲みついてしまいます。まずは家の中にある食品類を一箇所に集めて、ついでに整理整頓しましょう。とつくと消費期限切れになった食品類：意外と出てきますよ！

ドブネズミの好きな肉類などの動物質、クマネズミの好きな穀類や豆類などの植物質、どちらもねずみに狙われますので、常温保管できるものは蓋つきの樹脂製コンテナに入れ

るなどしてねずみに食べられないようにしましょう。パントリーや食器棚、キッチンの引出しなどに保管するのは危険です。

ねずみは一センチメートルほどの隙間があれば侵入できますのでご注意ください。

異変と異音でねずみの種類を判別しよう

水まわりに異変があればドブネズミ、天井裏を走る物音がすればクマネズミです。

ドブネズミは必ず屋外または床下から室内へと侵入します。ドブネズミの侵入経路はキッチンと洗面所のシンク下の配管外側の隙間（ふつう座金と呼ばれるドーナツ状の円盤が設置されています）からであることが最も多く、次いでお風呂の水封式トラップまたはトイレの水洗便器をくぐつての侵入です。ドブネズミは潜水も得意で、水洗トイレの排水トラップ程度なら泳ぎ切って室内に出没します。

ドブネズミは基本的に水まわりから侵入しますので、これらに異変があればドブネズミである可能性が濃厚です。

クマネズミは住宅上部からの侵入が大半です。このため天井裏から走り回る物音がしたり、またチューチュー鳴き声が聞こえたりします。

クマネズミの侵入経路は電線の引き込み口や屋根瓦の下などから壁や野地板をかじり、穴を広げ侵入するほか、エアコンのドレン配管の隙間などからも屋内へと侵入します。

わざと餌になる食品を置いてみよう

粘着トラップは異変を生じた場所に設置すれば良いのですが、毒餌を設置する場合はねずみの種類が正確に把握できていないと効果を引き出すことができません。このため異変を生じた場所に餌になるものを数種類わざと置いて、どれを食べるか確認する必要があります。ドブネズミなら魚肉ソーセージやドッグフードを、クマネズミなら食パンやハムスターやインコの餌が判別しやすいです。ただし、クマネズミは上質な小麦粉を使用した食パンしか食べませんのでご注意ください。食品添加物が大量に使用された食パンは、たとえ餌えても食べません！

五日前後設置してみてねずみが食べた痕跡があれば、その餌と共にねずみ駆除剤を設置します。ねずみが好んで食べる餌と一緒に設置することにより確実に毒餌を食べさせることができます。

「動」と「静」の調和

日本講演新聞 山本孝弘様

私たちの日常生活は「動」と「静」によって形づくられている。働く時間と休み時間、交流の時間と独りの時間。活動と休息のリズムがあるからこそ、人間は健やかに生き、力を蓄えることができる。「動」と「静」は切り離せず、むしろ一つの循環の両極として存在しているのである。

スポーツ観戦における観客の応援にも「動」と「静」がある。スタジアムで声を合わせて声援を送り、旗を振って選手を鼓舞する熱気に溢れた応援は、外からエネルギーを与える行為だ。

一方で、声を発せずただ祈るよう選手を見守る観客もいる。静かな眼差しを感じた選手は、その信頼に応えようと奮起する。プロ野球の観客席を例に挙げると、バックネット裏の観客が「静」で、外野席の観客が「動」といったところか。

愛知県の、ある教育長を訪問した時にこう言われたことがある。

「何もしないでただ生徒を見守ることが、その子にとって一番いい寄り添い方になることもあるんですよ」確かに生徒の成長を願い、そうすることが最善の策になる場面もあるだろう。まさに「静」の応援だ。

日本講演新聞社説より抜粋